

## 医学系研究に関する情報の公開について

|                       |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----------------------|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 研究機関名*                | 独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究課題名*                | 高齢慢性腎臓病患者における退院時 GNRI と臨床転帰との関連   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 所属科*                  | 栄養管理部   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究責任者*                | 竹内裕貴  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究実施期間                | 開始 西暦 2022年 4月 1日 ~<br>終了 西暦 2025年 3月 31日 (予定)  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 対象疾患(予定症例数)           | 慢性腎臓病患者 ( 114 症例)   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究対象となる治療・手術・検査の時期    | 自 西暦 2022年 4月 1日 ~<br>至 西暦 2023年 3月 31日   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究概要*                 | 高齢の慢性腎臓病患者は、併存疾患有することが多く、栄養障害をきたしやすい。低栄養リスク指標であるGNRIは、予後不良との関連が報告されているが、再入院を含む臨床転帰についての報告は少ない。本研究では慢性腎臓病加療目的に入院した患者に対して、退院時のGNRIが臨床転帰に関連するかを検討した。   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 倫理的配慮・個人情報の保護の方法について* | 本研究は既存データの編集であり、研究対象者の安全性に関しては問題のないものと思われる。個人情報の処理に関しては、データの連結可能匿名化を行い、対応表は別端末管理としセキュリティロックを行う。また、調査員に関してはデータの取り扱いに関して、十分配慮してもらうことにより情報の漏洩を予防することが可能であると思われる。<br>学術集会、論文等で研究成果を発表する場合も個人を特定できる情報を明らかにすることは行わない。 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究の問い合わせ先*            | 竹内裕貴<br>所属：大阪労災病院 栄養管理部<br>職名：管理栄養士<br>TEL：072-252-3561   |  |  |  |  |  |  |  |  |

\*記入必須項目